

防災機能ワンパッケージ無線機「ハザードトーク」

- 「ハザードトーク」は災害時には強いデータ帯域を使用しており、遮蔽物があっても回り込む電波特性のため、電波を受信しやすい無線機です。
- 災害対策用の機能が搭載、かつAndroid OSになっているため検索やMAP、アプリのダウンロードなど普段のスマホと同じように使えます。

サービスイメージ

防災機能ワンパッケージ無線機「ハザードトーク」 災害時の通信確保を支援

Android OSになっているため検索やMAP、アプリのダウンロードなど普段のスマホと同じ様に使えます。
その上で災害対策用に各機能が搭載されているため、使い慣れたスマホで災害時も安心してご利用いただけます。



各拠点に1台、責任者が持つ場合



営業職など現在支給している携帯を切り替える場合

特徴

特徴 1

災害時には強いデータ帯域を使用※

ハザードトークは音声を災害に強い「単信」のデータに瞬時に変換し、回線負荷を下げ、通話アプリ系で混み合うコンシューマデータ網を避け、確保した法人専用データ帯域で通信します。



特徴 2

全国どこでも利用可能※

ドコモの電話かWi-Fiが使えるところならどこでも利用可能。携帯キャリアの法人専用帯域（MVNO）を使って、災害時に混むデータ帯域や音声規制を回避。

※通信状況や利用環境により異なります。



特徴 3

迅速かつ伝達ミスを軽減するグループ通話

ハザードトークならグループ一斉通話や強制割込もでき、一度にコミュニケーションが完結します。
また無線通話は自動録音（ON/OFF可）され、カンタンに聞き直しができます。



※音声グループ / 音声200グループ
※録音機能はグループのみ

お問い合わせはこちらから